L'aile d'Howl

【ライル・ドウル：ホウルの翼（仏語）】

2013 年 11 月号

あっという間に 2013 年も締めくくりの時期がやってきました・・・今年は岩手ハンド界にたくさん嬉しいニュースがありましたね!!　実はまだまだ続くよ☆

日本リーグ花巻大会☆大崎電気が勝利を飾る！

10月20日、花巻市総合体育館アネックスにて、第37回日本ハンドボールリーグ花巻大会が開催されました。ここ岩手県を第二のホームとする埼玉県・大崎電気が、トヨタ紡織レッドトルネードを迎え撃ちました。公式記録によると、会場には1005人の観客が詰め掛けました。

試合に先立ち、県内少年団による前座試合が行われました。今回はリトルハンドさんvs矢巾フェニックスさんの対戦・・・の予定でしたが、花巻クラブジュニアも矢巾さんチームに参戦させていただきました。ハーフタイムには、U-10のちびっ子たちによるゲームも行われ、その可愛らしい姿に会場全体が大きな声援を送っていました。

さて、試合の模様ですが、大崎電気は高めに出る積極的なDFでトヨタ紡織の攻撃を抑えます。トヨタ紡織は速攻から徐々に点差を広げますが、大崎もリスタートからの速攻で一方的なリードを許しません。一時トヨタ紡織が5点リードしますが、ここで大崎は宮崎大輔選手をコートに送り込みリズムを取り戻すと、前半終了間際には東長濱選手がスカイプレーで同点ゴールを決め、17－17で前半を折り返します。

後半、大崎は足を使ったDFで対抗します。大崎は徐々にリードを広げますが、トヨタ紡織も2点差まで追い上げます。後半終盤、大崎はついに岩手県出身の馬場佑貴選手（不来方高→早稲田大）を投入。しかし、相手のシュートチャンスを妨害し退場。県人選手の活躍を期待していたファンとしてはもっとプレーを見たかったことでしょう。その後、互いに得点できない時間も続きますが、残り5分で大崎は点差を広げ、33－28で勝利を飾りました。

嬉しいことに、2014年2月に、また花巻市総合体育館で日本リーグの試合が予定されています。しかもダブルヘッダーで、トヨタ自動車東日本vsトヨタ紡織九州、そしてトヨタ車体が北陸電力と対戦します。特にも、トヨタ自動車東日本には、地元・花巻市出身の遠山賢治選手（花巻北中→盛岡南高→中央大）と上野承太選手（盛岡南高→日大）が所属しています。是非応援したいですね！皆様、また会場に足をお運びください！

花巻中女子部、5 年ぶりに春の全国中学生大会への出場決定!!

11月16日～17日、花巻市総合体育館で開催された第31回岩手県中学校新人ハンドボール大会において、花巻北中男子が第3位、そして花巻中女子が優勝しました！花巻中女子は、女子部が復活して2年目だった5年前に優勝して以来、2回目の頂点に立ちました。それでは花巻勢の大会の様子を振り返ってみましょう。

＜花巻北中女子＞　矢巾北中との初戦。上背のある相手のDFに対しシュートがなかなか決まらず、前半を11－3で折り返すと、後半も2得点に抑えられ、22－5で初戦敗退となりました。プレーの精度を上げること、そしてシュートの際の打点を高くすることなど、課題をクリアしながら今後の成長に期待したいと思います！

＜花巻北中男子＞　見前中との1回戦を19－15で勝利すると、なんと続く相手は花巻中！本当は決勝戦で会えると嬉しかったんですが・・・。花巻北中は3－3の変則的なDFから、相手のミスやパスカットを誘い、速攻で得点を重ねていきます。攻撃では、小田島丞選手と泉治希選手（ともに花巻クラブジュニア出身）が中心となり、花巻中DFを切り崩していきます。守っては不来方雄飛GK（花巻クラブジュニア出身）がゴールに立ちはだかり、花巻中のシュートをことごとくシャットアウト。結果的に22－9という大差で勝利を収めました。準決勝に駒を進め、次の対戦相手は黒石野中。

スタメンのほぼ全員が170cm以上の身長で、明らかに体格差があるチームとの試合となりました。上背のあるDFをなかなか崩すことができませんでしたが、徐々に3－3DFから積極的にパスカットを狙い、逆速攻で後半得点を重ねていきます。しかし、徐々に開いていった点差を埋めるには及ばず、33－20でゲームセット。第3位という成績で今大会を終えました。なお、OF･DFの両面でチームを牽引した小田島丞選手、泉治希選手の2名が大会優秀選手に選出されました。

＜花巻中男子＞　迎えた初戦は見前南中。序盤、攻撃が単調となり、なかなかDFを切り崩すことができません。前半は相手リードで折り返しますが、後半中盤、多田太朗キャプテンがケガを押してコートに登場。リスタートからの速攻を繰り返し、ついに逆転。そのまま突き放し、20－14で初戦を飾りました。しかし、ここで花巻勢同士がぶつかる形に。花巻北中の変則的なDFに惑わされ、さらに守護神･不来方GKの前に得点を重ねることができず、無念の2回戦敗退となりました。次回は決勝戦で花巻対決が実現することを願ってやみません。また、小柄ながらもここぞという場面でのナイスセーブが飛び出した砂子真靖GKが、大会優秀選手に選ばれました。すごく恥ずかしそうに受賞を喜ぶ姿が印象的でした。これを自信に次からも頑張れ！

＜花巻中女子＞　初戦の北陵中戦は、DFからの速攻の形を早い段階から出すことができ、18－6で勝利。続く2回戦も、松園中の攻撃を前半1点のみに抑える見事なDFを見せます。後半にも速攻で得点を重ねていき、20－5で試合を制します。迎えた準決勝の相手は、2回戦で矢巾中との接戦を延長戦、7Mコンテストの末に1点差でものにした見前中。実は最近の練習試合では負けがなく、自信を持って臨んだ試合は、前半序盤から花巻中ペースで進みます。後半に入っても得点リズムは止まらず、特に左サイドの福岡南菜選手は速攻から高確率でシュートを打ち込みます。最終的に33－14という大差で決勝戦へ駒を進めました。いよいよ迎えた決勝戦。矢巾北中を撃破した大宮中が逆ブロックから進出してきました。緒戦は大宮中ペース。3－0とリードされ、嫌なムードが漂う中、ようやく最初の得点が取れた花巻中は少しずつ緊張がほぐれ、徐々にリズムを取り戻します。得点が停滞する時間帯もありましたが、7－5とリードして後半を迎えます。依然ロースコアの展開となった後半ですが、要所で鎌田もも子選手がサイドシュートを決め、大宮中の追随を許しません。結果、花巻中が前半2点のリードを死守したまま、試合終了のブザー。劇的な勝利を収めたあの日の決勝戦から5年、花巻中女子が全国大会出場の切符をつかんだ瞬間でした。歓喜の声の中、嬉し涙があふれる選手たち。まるで試合に負けたように見えるくらい、泣きじゃくった選手たちもいました。今大会、キャプテンそしてDFリーダーとしてチームを牽引した中村宥希選手、安定したキーピングと速攻のパスを見せた杉森唯奈GK、要所でのサイドシュートが光った鎌田もも子選手、そして最近ミドルシュートに磨きがかかってきた管野あやめ選手が大会優秀選手の栄誉を受けました。特に中村選手と杉森GKは花巻クラブジュニア出身で、小学生時代にも東北大会で優秀選手に輝いた実績があります。こうした積み上げが中学生になっても成果が出てくると非常に嬉しいですね！

なお、男子は黒石野中との接戦を制した下小路中が、なんと15年ぶりに県の頂点に立ちました。こちらも、リトルハンドさんの卒団生メンバーが中心となりチームを引っ張りました。平大亮キャプテンの非常に落ち着いたプレーは、少年団時代から培った経験値の表れだと感じました。

男子･下小路中と女子･花巻中は、3月下旬に富山県氷見市で開催される春の全国中学生大会への出場権をゲットしました。岩手県代表として全国での上位を目指し、これから迎える冬季間、一生懸命トレーニングに励んでほしいですね!!

L'aile d'Howl (ライル･ドウル)
2013 年 11 月号
2013 年 11 月 25 日　発行
発行：花巻市ハンドボール協会
Special thanks to
日本リーグ機構様